



編集

富山大学総務部総務課広報室 〒930-8555 富山市五福3190
tel.076-445-6027 fax.076-445-6033

3

2005
MARCH



富山大学学位記授与式 (3月25日)



合格発表風景 (3月7日)



■ 平成16年度富山大学学位記授与式を挙行

■ 平成17年度入学者選抜学力検査の合格者を発表



合格発表風景

CONTENTS



1 学長告辞

平成16年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行

3 関係法令



5 諸会議



8 学事

平成17年度入学者選抜個別学力検査(一般選抜・後期日程)を実施、一般選抜等の合格発表も終了

大学院理工学研究科(博士後期課程)学位記授与式を挙行

北陸銀行と包括的連携協力に関する覚書を締結

附属小学校と中華人民共和国大連海事大学附属学校との友好交流協定を締結

学位取得

平成16年度国際交流活性化推進事業(通年・後期分)採択者一覧



11 学内諸報

学生表彰を実施

平成16年度退職者を囲む懇談会を開催

海外渡航者

14 主要行事

学長告辞

平成16年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行

— 学士1,484名、修士287名、博士15名、計1,786名が晴れの門出を迎える —



告辞する瀧澤学長

平成17年10月の再編統合に伴い、現富山大学としては最後となる、平成16年度富山大学学位記授与式が、3月25日(金)午前11時から富山市芸術文化ホールにおいて挙行され、総勢1,786名が晴れの門出を迎えました。

式に先立ち、富山大学フィルハーモニー管弦楽団による「ラデツキー行進曲」(ヨハン・シュトラウス作曲)及び「威風堂々第1番」(エルガー作曲)の演奏と、富山大学合唱団による「富山大学歌」(菊池靖雄作詞、森川勝彦作曲、東健治編曲)及び「鷗」(三好達治作詞、木

下牧子作曲)の合唱があり、式に落ち着いた雰囲気をもたらしました。

式は関係部局長及び名誉教授10名が列席する中、瀧澤学長から、人文学部代表の釣弘美さんをはじめとして各学部及び大学院の各研究科(専攻)の代表者13名に学位記が授与されました。

続いて、瀧澤学長から「富山大学で学び、研究した経験を生かし、21世紀に課せられた使命を果たすために活躍してほしい。」旨告辞した後、卒業生を代表して教育学部藤本恭子さんが卒業を迎えての決意を述べ、厳粛なうちに式は終了しました。

なお、式場前には多数の学生が集まり、卒業・修了生に花束を贈ったり、記念写真を撮るなど門出を祝っていました。



卒業生を代表して答辞を述べる藤本さん

学長告辞 (全文)

富山大学の学部卒業・大学院研究科修了の皆さん おめでとうございます。本日、富山大学から学位を授与されたのは、学士1,484名・修士287名・博士15名、合計1,786名の方々であります。富山大学での勉学の成果として、それぞれの学位を授与されたこと、心からお祝い申し上げます。

学部卒業生の大部分は、21世紀に入って初めて大学に入学された方々です。また大学院修了の皆さんは、20世紀から21世紀への世紀転換期を学生として体験された方々です。確かに、時代の流れは連続しており、ことさら世紀転換期という表現を使うことは意味が無いとみる考えもあります。一方で、世紀の変わり目、つまり世紀転換期という概念が使われたのは19世紀から20世紀への移行の際のヨーロッパで、ある意味で社会の爛熟した退廃現象を表す世紀末という言葉もこの時代に生まれました。これに伴って、100年という時代の

単位がある中で、世紀の持つ意味が意識され、それぞれの世紀の特徴を考えることが歴史認識の方便として使われるようになりました。この観点から、新しい世紀の始まりを大学の学部で学び、研究科で研究生を送り、今、社会で活躍する皆さんや、今後も研究者として歩む皆さんにとって、直前の過去の20世紀について考えることは大いに意味のあることと思います。20世紀は一言で言えば、科学と技術の発展が人類を幸福にすると素朴に信じた時代でした。確かに私たちの生活は、この100年の間に驚くほど快適になり便利になりました。しかし同時に、大量の殺戮が繰り返され、多くの罪の無い子供たちが戦乱の犠牲になり、また貧富の格差が増大し、今この現在も多くの子供たちが貧困と飢えの中で命を失っています。いや、それ以上に、環境破壊によって未来の人類の生存が脅かされる状況を伴った事実を忘れてはなりません。皆さんが活躍する21世紀は、これらの負の遺産を解消して、未来の人類の幸福に資する社会を作り上げる使命を持った時代です。

本日、学位を授与された皆さんは、21世紀の社会で指導的立場に立つ者として、大学で学び、研究したことの意味を今一度振り返ってみてください。あらゆる学問は、その専門分野のいかにかわらず、常に批判的な問題意識を持ち、自主的な判断が必要なことを学んだはずであります。更に言えば、学問研究は、その根底にヒューマンズムに基づく人間愛、また人間としての理性と倫理観があって初めて、意義を持ってくるものです。時流に迎合した学問は言うに及ばず、このような理念や倫理観の欠如した単なる学問的知識や技術の習得が、社会の歪みに対する総合的判断能力を失わせ、人類の悲劇を招いたことを、直前の20世紀の歴史が示しております。皆さんは、富山大学で学び、研究した経験を生かし、常に、このことを念頭に置き、実社会に出て、時流に流されること無く、付和雷同することなく、常に批判的な問題意識を持ち、自主的な判断によって、21世紀に課せられた使命を果たすために活躍してください。

さて、富山大学は、あと半年後の平成17年10月1日に、富山医科薬科大学・高岡短期大学との再編統合によって、新しい富山大学として生まれ変わります。現在の富山大学は三大学の中で、最も長い歴史をもち、多くの業績を挙げ、数多くの有能な学生を送り出してきました。一方、富山医科薬科大学・高岡短期大学は、いずれも優秀な大学・短大であります。それぞれの設置目的は違っております。しかし、大学が研究と教育を使命とする以上、学際的分野の研究や他分野との協力が必要であり、総合大学への発展は必然のものと言えます。大学の統合は、一般社会の企業の合併と本質的に違っています。三大学を単に寄せ集めるのではなく、三大学が統合することによって、それぞれの特質を生かし協力することによって、より研究能力を高め、学生の教育を今以上に充実させ、社会への貢献が出来る大学として、新しい富山大学に生まれ変わるために、今最終的な詰め作業を行っております。長く親しんできた六角形の雪の結晶を表したシンボルマーク、私も50年前に富山大学の学生として、当時誇り高く、詰襟の学生服の襟に付けていた六角形のバッジ、懐かしい私たちのシンボルマークは新しい富山大学では使われなくなり、淋しさが無いとは言えません。今、新しいシンボルマークについて、三大学で話し合っておりますが、しかし決して今の富山大学が、皆さんの母校である富山大学が消滅するわけではありません。私自身も富山大学の卒業生であり、皆さんの同窓生です。また誰よりも、この富山大学を愛していると自負している者の一人です。皆さんは、この秋に、私たちの富山大学の良き伝統を継承発展させた素晴らしい総合大学としての富山大学に生まれ変わることを期待して、この富山大学で学び、研究したことを大きな誇りとして、胸を張って、存分に活躍してください。

これをもって、新しい生活へ旅立つ皆さんへの私からはなむけの言葉といたします。

平成17年3月25日

富山大学長 瀧澤 弘

関係法令

(政 令)

- 独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行令の一部を改正する政令(45) (平17.3.18官報号外第56号)
- 毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令 (65) (平17.3.24官報号外第61号)
- 独立行政法人日本学生支援機構法施行令の一部を改正する政令 (80) (平17.3.30官報号外第69号)
- 国家公務員共済組合法による再評価率の改定等に関する政令 (82) (平17.3.30官報号外第69号)

(府令・省令)

- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行規則の一部を改正する命令 (内閣府・財務・文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業・国土交通・環境1) (平17.3.22官報第4057号)
- 環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律第9条第1項の規定による環境報告書の作成及び公表の方法を定める命令 (内閣府・総務・財務・文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業・国土交通・環境1) (平17.3.30官報号外第70号)

(省 令)

- 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令 (財務・文部科学・厚生労働・農林・水産・経済産業・環境1) (平17.3.7官報第4047号)
- 救急救命士学校養成所指定規則の一部を改正する省令 (文部科学・厚生労働1) (平17.3.10官報第4050号)
- 大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則の一部を改正する省令 (文部科学3)
(平17.3.10官報号外第50号)
- 教員資格認定試験規程の一部を改正する省令 (文部科学5) (平17.3.24官報第4059号)
- 毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令 (厚生労働41) (平17.3.25官報第4060号)
- 独立行政法人日本学生支援機構に関する省令の一部を改正する省令 (文部科学14)
(平17.3.31官報第4064号)
- 国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令 (財務25) (平17.3.31官報号外第71号)
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 (文部科学16) (平17.3.31官報号外第72号)
- 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する省令の一部を改正する省令 (文部科学18)
(平17.3.31官報号外第72号)
- 国立大学等の授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令 (文部科学20)
(平17.3.31官報号外第72号)
- 国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令 (文部科学21) (平17.3.31官報号外第72号)
- 学校保健法施行規則の一部を改正する省令 (文部科学22) (平17.3.31官報号外第72号)
- 国の補助金等の整理及び合理化等に伴う義務教育費国庫負担法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係省令の整備等に関する省令 (文部科学23) (平17.3.31官報特別号外第12号)

(告 示)

- 平成17年度科学研究費補助金（特定奨励費）における事業計画調書の提出期限等を定める件（文部科学20）
（平17.3.1官報第42号）
- 学校教育法第69条の4第2項の規定に基づく認証評価機関の認証に関する件（文部科学31）
（平17.3.3官報号外第44号）
- 大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則第11条第1項の規定に基づき，大学の設置等の認可申請に係る書類の様式及び提出部数を定める件（文部科学39）（平17.3.10官報号外第50号）
- 環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律第8条第1項の規定に基づく環境報告書の記載事項等を定める件（内閣府・総務・財務・文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業・国土交通・環境1）（平17.3.30官報号外第70号）
- 学校教育法施行令第23条の2第1項第5号の規定による分野を定める件（文部科学51）
（平17.3.31官報第4064号）
- 大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取扱い等に係る基準の一部を改正する件（文部科学52）（平17.3.31官報第4064号）
- 高等学校学習指導要領の一部を改正する件（文部科学53）（平17.3.31官報号外第72号）



諸会議

●学生生活委員会 [3月8日]

- (審議事項) (1) 学生サポート・マニュアルの作成について
(2) 学生表彰要項の修正と学生の表彰について
(3) 入寮選考委員会委員の選出について

●役員会 [3月14日]

- (審議事項) (1) 学内規則等の制定及び一部改正について
(2) 平成17年度教員の定員削減等について
(3) 平成17年度年度計画について
(4) 平成17年度予算案について
(5) 富山大学と北陸銀行の包括的連携協力について
(6) 奨学寄附金の受入れについて

●教育研究評議会（臨時） [3月14日]

- (審議事項) (1) 平成17年度教員の定員削減等について
(2) 平成17年度年度計画について
(3) 富山大学と北陸銀行の包括的連携協力について

●経営協議会 [3月16日]

- (審議事項) (1) 学内規則の一部改正について
(2) 平成17年度年度計画について
(3) 平成17年度予算について

●役員会（臨時） [3月17日]

- (審議事項) (1) 平成17年度教員の定員削減等について
(2) 平成17年度年度計画について
(3) 平成17年度予算案について

●教育研究評議会 [3月18日]

- (審議事項) (1) 国立大学法人富山大学個人情報保護規則等の制定について
(2) 国立大学法人富山大学客員教授及び客員助教授規則の制定について
(3) 富山大学日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考規則の制定について
(4) 学生の表彰について

●部局長等連絡会 [3月18日]

- (懇談事項) (1) 当面する諸課題について

●**教育研究評議会（臨時）**【3月22日】

（審議事項） （1）学生の懲戒について

●**就職委員会**【3月24日】

（審議事項） （1）平成17年度全学就職支援事業実施計画（案）について

●**衛生委員会（五艘地区）**【3月24日】

（協議事項） （1）衛生管理者等による職場パトロールの結果について
（2）平成17年度安全衛生推進計画（案）について

●**衛生委員会（五福団地）**【3月31日】

（協議事項） （1）産業医職場パトロールについて
（2）各部局職場パトロールについて
（3）受動喫煙防止対策について
（4）平成17年度安全衛生推進計画（案）について
（5）平成17年度産業医職場パトロール計画（案）について

学内規則

新たに制定された学内規則は、事務局総務部総務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「学内規則等改正等通知一覧」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/somuka/kisoku/tophouki.html>

人事異動

教職員の人事異動については、事務局総務部人事労務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「人事異動通報」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/jinjika/index.html>

学 事

平成17年度入学者選抜個別学力検査(一般選抜・後期日程)を実施、一般選抜等の合格発表も終了

平成17年度入学者選抜個別学力検査(一般選抜(前期日程)、専門高校・総合学科卒業生選抜及び私費外国人留学生選抜)の合格発表が、3月7日(月)午後1時から特設掲示板とホームページにおいて行われ、1,042人に合格通知が送付されました。

また、3月12日(土)には、一般選抜(後期日程)の学力検査等が各学部検査場において実施され、志願者2,240人のうち、1,284人が受験(受験率57.3%)しました。合格発表は3月21日(月・祝)午後1時から特設掲示板とホームページにおいて行われ、434人に合格通知が送付されました。

合格者の入学手続きは、一般選抜(前期日程)等が3月14日(月)、15日(火)に、一般選抜(後期日程)が3月27日(日)にそれぞれ行われ、入学手続き締め切り日において欠員が生じた学部・学科・課程では、28日以降に追加合格による欠員補充が実施されました。



合格発表風景



ほっとした表情の受験生

大学院理工学研究科(博士後期課程)学位記授与式を挙行

3月23日(水)に学長室において、富山大学大学院理工学研究科(博士後期課程)学位記授与式が挙行されました。

式には、修了認定者2人が出席し、瀧澤学長から博士の学位記が授与されました。

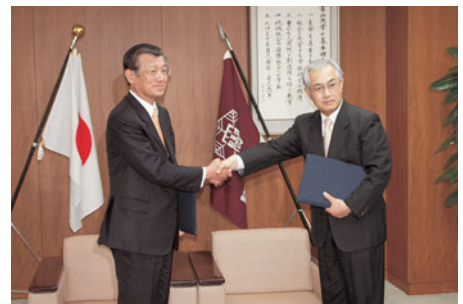
学位記授与式の模様



北陸銀行と包括的連携協力に関する覚書を締結

3月23日(水)に学長室において、株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書締結の調印式を行い、瀧澤学長と高木北陸銀行頭取が、覚書に署名しました。

この連携協力は、教育・研究の推進及び活力ある地域経済の発展及び地域社会の活性化を図ることを目的としており、富山大学のシーズと企業のニーズとのマッチングの促進、研究成果の事業化、経営相談、人材交流、人材育成等相互の協力をねらいとしたもので、今後、両者のメンバーで構成する「連絡協議会」を設置し、具体策等について協議していく予定です。なお、大学と金融機関がこのような包括提携を結んだのは、北陸では初めてのことです。



調印式の模様

附属小学校と中華人民共和国大連海事大学附属学校との友好校関係協定締結

3月22日(火)、教育学部附属小学校では、昨年より交流を進めてきた中華人民共和国大連海事大学附属学校と友好提携を結びました。

昨年12月2日に大連海事大学附属学校小学部の劉華副校長と丁勇教諭が、附属小学校の平成16年度第2回の教育研究発表会に合わせて来校し、丁教諭は5年生を対象に図工の公開授業を行い、今回は、附属小学校の雨宮校長、瀬戸副校長、平井久美子教諭が大連海事大学附属学校を訪れ、平井教諭が小学部3年生に音楽の授業を行いました。この授業には大連市内の小学校教員ら約100名の参観者があり、日本の指導法への関心の高さが伺えました。

附属小学校では、昨年3月に大韓民国ソウル慶熙大学校併設初等学校と友好協定を結び授業交流を行っており、今後ロシアとの授業交流を計画し、環日本海地域の小学校教育実践拠点校としての機能を強化していくことにしています。



大連海事大学附属学校との調印式の模様

学位取得

所属・職・氏名 教育学部 助教授 鼓 みどり

学位の種類 博士(文学)

取得年月日 平成17年3月31日

学位論文名 「ユトレヒト詩篇挿絵研究—言葉が織りなしたイメージをめぐって—」

論文の要旨 830年頃に制作された『ユトレヒト詩篇』挿絵を作りあげているモチーフは詩篇本文に呼応すると同時に、ある種の視覚的一貫性を保っている。本論文は挿絵を3つの視点、すなわち①章句に密着したイメージ生成、②モチーフ相互に意味を与える画面構造の様相と古代末期美術に見いだされる発想の源泉、③同時代や後世に与えた感化、から検討した。一連の論考を通じて、『ユトレヒト詩篇』挿絵の本質は章句を普遍的なイメージに変換するリテラリズムであり、モチーフ相互を関係づける景観は画面から各篇の章句や主題を解読させることが理解できた。さらに贖罪論をいち早く視覚化したカンティクム挿絵や工芸との相互作用など、カロリング朝美術における重要な事象は『ユトレヒト詩篇』とかかわりが深く、本論文であらためてその感化の大きさを確認した。この希有な作品の様式のみならず構想自体が、時代や地域を越えて多大な影響力を持ち、新たな発想や実験を触発したことも看過できない。以上の考察により、この独創的な、そして魅力あふれる作品の全体像をいっそう明確にできた。



平成16年度国際交流活性化推進事業（通年・後期分）採択者一覧（再募集含む）

1. 第1種海外派遣事業（A）（遼寧大学及び協定大学への派遣）

申請者			派遣期間	訪問先	研究課題
所属部局	職名	氏名			
経済学部	教授	増田 信彦	H16.10.2~H16.10.13 (12日間)	中国人民大学計画統計学院 (中国)	中国の環境経済勘定に関する研究
工学部	助手	張 燦	H16.10.2~H16.10.16 (15日間)	大連理工大学化工学院 (中国)	合成燃料に関する固体触媒の開発

2. 第1種海外派遣事業（B）（教員等の海外派遣）

申請者			派遣期間	訪問先	研究課題
所属部局	職名	氏名			
人文学部	教授	金子 幸代	H16.10.29~H16.11.1 (4日間)	誠信女子大学 (韓国)	森鷗外と近代劇に関する研究 (異文化交流の視点から)
人文学部	助教授	竹内 潔	H16.11.16~H16.11.22 (7日間)	サンフランシスコ (アメリカ合衆国)	中央アフリカの狩猟採集民の同化と差異化
教育学部	講師	水内 豊和	H17.1.18~H17.1.24 (7日間)	ニューヨーク (アメリカ合衆国)	障害児の統合保育に要求される保育者の資 質と専門性に関する日米比較研究
理学部	助教授	藤 浩明	H16.12.12~H16.12.18 (7日間)	サンフランシスコ (アメリカ合衆国)	海底長期電磁気観測が解明した北西太平洋 海盆下の電気伝導度構造
理学部	助教授	張 勁	H16.12.17~H16.12.22 (6日間)	サンフランシスコ (アメリカ合衆国)	東部ベーリング海植物プランクトン分布と 栄養塩環境(円石藻ブルームに関して)

3. 第2種外国人研究者招へい事業（A）（遼寧大学からの外国人研究者の招へい）

受け入れ教員			招へい期間	招へい研究者		研究課題
所属部局	職名	氏名		氏名	所属・職名	
人文学部	助教授	梁 有紀	H16.10.2~H16.10.30 (29日間)	王 春栄	遼寧大学文化伝播学院 教授	中国現、当代女性文学

学内諸報

学生表彰を実施

3月25日(金)、大学院理工学研究科修士2年、李 軍さんが学生表彰を受けました。これは本年1月に制定された富山大学学生表彰要項に基づく最初の表彰であり、専門領域において国内外の学界で高く評価される研究業績等を挙げた学生として評価されたものです。

表彰対象となった研究は、高度なデータ圧縮技術を応用した携帯電話用多言語対応システムに関するもので、この研究におけるデータ圧縮手法は、学術的研究面でも価値が高く、社会への還元性もあるため、非常に高く評価されました。また、李さんは、財団法人学生サポートセンター主催の平成16年度(第2回)学生ベンチャー支援ビジネスプランコンテストにおいても優秀賞を受賞しています。

表彰式には、瀧澤学長のほか、風巻副学長、遠藤事務局長、渡辺学務部長、龍山理工学研究科長及び指導教員である工学部 唐 教授も列席し、表彰式の後、李さんを囲み和やかな雰囲気懇談会が行われました。



懇談会の模様

平成16年度退職者を囲む懇談会を開催

平成16年度退職者を囲む懇談会が、3月22日(火)午後4時30分から事務局大会議室において開催されました。

瀧澤学長から、退職者一人一人に記念品の贈呈が行われた後、退職者の方々に対して、文部科学省機関並びに本学に永年にわたり職務に精励されたことについて感謝と労いの言葉がありました。

最後に、退職者を代表して田中 晋教授から謝辞がありました。

引き続き、記念撮影が行われた後、小会議室において退職者を囲んで懇親会が催され、和やかな雰囲気の中、思い出に話が弾んでいました。

なお、平成16年度に退職された方々は次のとおりです。

監査室	専門員	吉澤 誠	教育学部	教授	山本 都久
総務部	部長	山崎 千春	教育学部		
	専門員	石坂 淳子	附属教育実践総合センター	教授	塚野 州一
	主任	松井 博文	教育学部	栄養士	山本 郁子
経営企画部	係長	東 敏	経済学部	教授	篠原 巖
学務部	課長補佐	能登 功		教授	増田 信彦
	係長	今井 稔		事務長	村中 一男
	専門職員	泉田 享一		専門職員	黒田 芳雄
研究振興部	課長補佐	羽根 俊	理学部	教授	黒田 英世
	主任	尾山 吉昭		教授	小林 武彦
人文学部・理学部	事務長	新田 昌六	工学部	教授	河崎善司郎
教育学部	教授	淡川 典子		教務職員	赤壁 節子
	教授	田中 晋	水素同位体科学		
	教授	古川 政明	研究センター	教授	渡辺 國昭



平成16年度 退職者を囲む懇談会 平成17年3月22日

海外渡航者

渡航区分	所属名	職名	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	教育学部	助教授	野平 慎二	インドネシア	インドネシアの教育NGOに関する調査及び資料収集	H17.3.4～ 17.3.9
	理学部	助教授	張 勁	アメリカ合衆国	沿岸海底・湧水に関する共同調査及び実験	H17.3.5～ 17.3.23
	工学部	講師	藤井 雅文	ドイツ	光集積回路解析に関する共同研究	H17.3.5～ 17.9.21
	工学部	教授	森 克徳	中国	視察	H17.3.7～ 17.3.10
	工学部	教授	椿 範立	中国	視察	H17.3.7～ 17.3.10
	工学部	教授	唐 政	中国	視察及びニューラルネットワークに関する研究打ち合わせ並びに資料収集	H17.3.7～ 17.3.19
	工学部	教授	龍山 智榮	中国	視察	H17.3.7～ 17.3.10
	水素同位体科学研究センター	助教授	波多野雄治	アメリカ合衆国	「核融合ブランケット用Flibe溶融塩技術」に関するワークショップに出席	H17.3.9～ 17.3.13
	工学部	教授	熊澤 英博	韓国	研究打ち合わせ	H17.3.11～ 17.3.17
	工学部	教授	椿 範立	アメリカ合衆国	米国化学会第229回全国大会での研究発表及び資料収集	H17.3.14～ 17.3.21
	工学部	教授	石原 外美	イタリア	第11回破壊に関する国際会議での研究発表	H17.3.19～ 17.3.27
	教育学部	講師	高橋 純	中国	授業実施打ち合わせ及び交流に関する意見交換	H17.3.19～ 17.3.23
	教育学部	教授	雨宮 洋司	中国	授業実施打ち合わせ及び交流に関する意見交換	H17.3.19～ 17.3.23
	工学部	教授	竹腰 栄俊	韓国	第6回日韓熱流体工学会議での研究発表	H17.3.20～ 17.3.24
	工学部	講師	瀬田 剛	韓国	第6回日韓熱流体工学会議での研究発表	H17.3.20～ 17.3.24
	工学部	技術職員	喜多野一幸	韓国	第6回日韓熱流体工学会議への出席及び資料収集	H17.3.20～ 17.3.24
教育学部	教授	諸岡 晴美	スペイン	スペイン各地の民族衣装とレースの文様に関する市場調査及び資料収集	H17.3.30～ 17.4.8	
海外研修	人文学部	助教授	中井 精一	韓国	慶北大学との共同研究	H17.3.1～ 17.4.11
	人文学部	助教授	青木 恭子	ロシア	ロシア国立歴史文書館及びロシア国立図書館での研究資料収集	H17.3.17～ 17.4.2
	工学部	教授	熊澤 英博	中国	杭州市人民対外友好協会での河川浄化検討会に出席	H17.3.24～ 17.3.28

3月主要行事

事務局

- | | | |
|----|-----|---|
| 3月 | 1日 | 国際交流WR会議 |
| | 2日 | 新大学：中期目標・中期計画部会中期目標・中期計画WG
北陸地区国立大学連合協議会（於：金沢大学） |
| | 3日 | 五福キャンパス教育研究体制検討PJ
戦略企画PJ |
| | 4日 | 国立大学協会総会
新大学：機構・センター部会
新大学：機構・センター部会地域連携推進機構WG生涯学習部門分科会及び
地域づくり・文化支援、施設開放部門分科会合同会議 |
| | 7日 | 平成17年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜・前期日程及び専門高校・総合学科卒業生選抜）、私費外国人留学生選抜合格発表
新大学：学部教育・学生支援部会学生支援WG |
| | 8日 | 入学者選抜方法研究委員会
学生生活委員会
目標評価PJ
新大学：学部教育・学生支援部会国際交流WG
新大学：広報部会ポスター・冊子WG |
| | 9日 | 公開講座専門委員会
新大学：学部教育・学生支援部会学部教育WG
新大学：情報部会 |
| | 10日 | 学術研究WR会議 |
| | 11日 | ヒトゲノム実地調査 |
| | 12日 | 平成17年度入学者選抜個別学力検査（後期日程） |
| | 14日 | 役員会
教育研究評議会（臨時）
事務局連絡会
特色GPと現代GPIについての説明会 |
| | 15日 | 発明評価審議会 |
| | 16日 | 経営協議会
新大学：大学院部会大学院（医薬理工系）WG及び新大学構想TF合同会議 |
| | 17日 | 役員会（臨時）
五福キャンパス教育研究PG
新大学：機構・センター部会地域連携推進機構WG産学連携部門分科会
新大学：管理運営部会学長選考WG |
| | 18日 | 教育研究評議会
部局長等連絡会
兼業審査会 |
| | 21日 | 平成17年度入学者選抜個別学力検査（後期日程）合格発表 |
| | 22日 | 教育研究評議会（臨時）
事務協議会
大学推薦による国費留学生選考委員会
退職者を囲む懇談会
新大学：学部教育・学生支援部会国際交流WG
新大学：広報部会
放射性物質管理委員会（持ち回り） |
| | 23日 | 大学院理工学研究科（博士後期課程）学位記授与式
「国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書」調印式
平成18年度概算要求学内ヒアリング |

24日 北陸地区国立大学連合学長会議（於：金沢大学）
就職委員会
衛生委員会（五艘地区）
新大学：入試部会
新大学：広報部会ロゴマークWG

25日 学位記授与式（於：富山市芸術文化ホール）
新大学：管理運営部会環境安全衛生管理WG

29日 国際交流WR会議

30日 新大学：管理運営部会学長選考WG

31日 衛生委員会（五福団地）
学術交流事業選考会議

教養教育

3月 1日 教養教育院例会
22日 教養教育院例会
24日 北陸地区国立3大学教養教育研究会
教養教育院と工学部教務委員会との協議会

人文学部

3月 1日 学部総務委員会
学部予算委員会
2日 学部学生生活委員会
3日 学部教務委員会
研究科小委員会
4日 研究科委員会
教授会
20日 教授会
24日 学部国際交流委員会

教育学部

3月 2日 予算委員会
3日 学部教務委員会
研究科委員会小委員会
4日 学部入学試験委員会
研究科委員会
教授会
10日 附属養護学校卒業証書授与式
11日 附属幼稚園修了証書授与式
14日 附属小学校卒業証書授与式
15日 附属中学校卒業証書授与式
16日 学部学生生活委員会
教授会
17日 附属幼稚園終業式
18日 附属小学校及び附属中学校修了式
20日 学部入学試験委員会
教授会
附属小学校 大韓民国慶熙大学校併設初等学校への交流訪問（～23日）
附属小学校 中国大連海事大学校附属学校への交流訪問（～23日）

22日 附属小学校、中国大連海事大学校附属学校との友好交流協定を締結
附属養護学校修了式
附属幼稚園転入学者発育検査
25日 附属小学校転入学試験

経済学部

3月 2日 学科長会議
4日 教授会
7日 情報処理委員会
将来構想等検討委員会
教務委員会
8日 研究科委員会小委員会
9日 人事教授会
研究科委員会
教授会
17日 総務委員会
20日 教授会
人事教授会
学科長会議
24日 就職指導委員会
25日 情報処理委員会
生涯学習・広報委員会

理学部

3月 2日 学部入試委員会
4日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
大学院理工学研究科博士後期課程部会
大学院理工学研究科委員会
学部施設委員会
9日 学部広報委員会情報・広報部会
学科長会議
15日 学部施設委員会
16日 学部就職指導委員会
17日 学部自己点検評価委員会
18日 学部広報委員会
20日 教授会
人事教授会
31日 学部教務委員会

工学部

3月 2日 学部運営委員会
学部学生生活委員会
4日 合格者検討委員会
教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
理工学研究科博士後期課程部会

4日	理工学研究科委員会
11日	3大学特色GP代表者会議（～13日）（於：新潟）
14日	富山医科薬科大学21世紀COE講演会
16日	学部FD委員会
17日	学部将来計画委員会
20日	合格者検討委員会 教授会
22日	学部運営委員会
24日	学部教務委員会 教養教育院と工学部教務委員会との協議会
29日	学部運営委員会 学部FD委員会
30日	学部自己点検評価委員会 学部教育業績評価委員会

附属図書館

3月 10日 運営委員会

地域共同研究センター

3月 9日 運営委員会（持ち回り）
25日 運営委員会（持ち回り）
30日 運営委員会（持ち回り）

総合情報基盤センター

3月 15日 運営委員会

留学生センター

3月 1日 日本語研修コース修了式
17日 運営委員会

水素同位体科学研究センター

3月 15日 運営委員会

機器分析センター

3月 22日 運営委員会（持ち回り）



極東地域研究センター

3月 18日 運営委員会（持ち回り）
30日 運営委員会



ベンチャービジネスラボラトリー

3月 8日 ビジネスプランコンテスト及びプロジェクト研究成果発表会
22日 運営委員会

編集 富山大学総務部総務課広報室
〒930-8555 富山市五福 3190 TEL.(076)445-6027 FAX.(076)445-6033